

地域で育つ、鶉の郷の子どもたち

福井市鶉小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	28回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	54人
授業ボランティア（含：低ボラ）	65人
登下校支援ボランティア	450人
その他（PTA活動）	620人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

【子ども福井学】－4年生の総合的な学習－ 鶉の偉人「杉田定一先生」に学ぶ

福井の治水の神様「杉田定一（鶉山）先生」は、度重なる河川の氾濫から農作物や田畑を守るため、明治33年に、九頭竜川、足羽川、日野川の河川改修工事に着手し、私財を投げ打ち、10年の歳月をかけて明治43年に改修工事を完了した。その偉業を学ぶため、4年生が中心になり、「子ども福井学」に取り組んだ。歴史ボランティアグループの語り部や鶉公民館長、それに地域のボランティアグループの方から、先生の生い立ちや業績についてお話をお聞きしたり、紙芝居をしていただいた。また、史跡を巡り、詳しく説明してもらった。それを基に、総合の時間にまとめ、ありがとう集会で発表をした。



【杉田定一先生紙芝居】

【ふるさと学習】－5年生の総合的な学習－（9月12日）

鶉の里探検隊の副隊長で、絶滅危惧種になっている「ミズアオイ」の復活に尽力されている久米田賢治氏を講師にお招きし、「鶉のお宝探し・お宝づくり」について話をいただいた。鶉地区にはミズアオイなど絶滅危惧種が27種類もあること、ミズアオイの葉や茎はバッタやザリガニに食べられてしまうことなどをお聞きした。ミズアオイの花は美しいだけでなく、環境保全に大きく貢献し農薬を使わない農業を推進することになり、体や環境にもよいということを知ることができた。

【地層観察会】－6年生の地域学習－（10月12日）

6年生が、理科の学習で水切町の砂採取場に行き、自然史博物館の吉澤康暢館長さんから地層についての話をお聞きした。水切町の地層はとても貴重で、歴史を探れるものだそうである。地層の様子から、鶉地区は大昔、海であったこと、11万年前や約6万年前には、火山が噴火し火山灰が降ってきたことがわかった。



【吉澤館長の説明】

【鶉の宝－北島農園－】－2年生の生活科－（5月19日）



2年生が池尻町にある北島農園を訪問し、屋久島生まれのトカラ山羊やクジャクなどを見せてもらった。自然の中で育っている動物たちはとても元気で、様々な病気にも強く抵抗力がある。ヒスイ鳥やチャボ、セキセイインコ、カモなどはとても元気で、子どもたちはえさをあげたり、多くの質問をしてとても意欲的だった。

成果と課題

九頭竜川に堤防を作り、水害から地域を救った郷土の偉人「杉田定一先生」の偉業について知ることができた。鶉地区には、その他にも他地区に誇る、貴重な生き物や自然がたくさんあることに気づき、それらを大切に守っていかなければならないこともわかった。地域の特色を生かした活動やゲストティーチャー・ボランティアによる体験的な活動を積極的に取り入れたことで、地域との連携・協力が十分進んだ。今後も継続して地域に根ざした学校をめざしたい。